

Flags

vol.83 2012-04

ICカードを活用した健診データ収集システム 『健診ステーション』の導入事例 ～(財)霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター様

RF-ID を活用した成功事例として、当社の健診センター向けソリューション「健診ステーション」をご導入頂いた“財団法人霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター様”をご紹介します。

当事例は、工場の生産現場への応用も十分可能なソリューションとなっており、「健診機器」→「製造装置」に、「受診者 IC カード」→「作業指示 IC カード」に置き換えると、「ペーパーレス生産管理システム」として読み替える事が可能です。

背景

同健診センター様は、日本人間ドック学会・日本総合健診医学会の認定を受けた優良総合健診施設として、常に顧客満足や業務効率化に工夫を凝らしております。

最新の設備を整え、業務のシステム化についても積極的な取り組みを進めてまいりましたが、検査結果の処理については、これまで手書きの受診票を使っており、改善課題となっております。

BEFORE ～導入までの経緯

◎手書きでの運用の限界！

従来、紙の受診票に計測した結果値を手書きした後に、当番のスタッフがOCR で結果入力を行っていました。結果入力後には、読み合わせチェックを行い、誤認識データを修正します。その間、2人のスタッフがほぼ一日中



財団法人霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター様

つきっきりになっていました。しかも、当番のスタッフは、健診が終了した方の受診票を受付まで受け取りに行く必要があるため、データチェックを行う事務所と受付を何度も往復する必要がありました。「手書きでの運用にもう限界があったんですよね」(システム担当者様談)

◎煩雑な作業ゆえのミスの可能性！

手書きの際に記入ミスがあるのは、人間が行う作業のため当然発生しますが、OCR での後処理も 100%の精度ではないため、必ず後でチェックする必要があります。さらに、修正のために行う手入力でもミスが発生する可能性があります。「手書きならではの、読みにくい文字もあるんですよね。」(システム担当者様談)

AFTER ～導入後の成果

◎人的コストの低減・作業時間の大幅な削減!!

健診ステーションを導入してからは、読み合わせ作業の大幅な時間削減により、他の業務をこなしながらでも対応できるようになったそうです。さらに以前は事務所では健診が終わった人の人数がリアルタイムで把握でき



MTR-200

7インチワイドタッチパネルディスプレイ搭載のRFリーダライタ機能つき WindowsXP Embedded 卓上端末



RIC-250R

表示書とICカードの同時書き換えが可能なロイコリライトICカードプリンタ

ず、受診票回収に何度も受付まで往復してしまうことがありましたが、進捗管理機能を使うことによってリアルタイムに状況が確認でき、受付を往復する作業も削減できました。

これも健診ステーションが、上位の健診システムとリアルタイムにデータ連携する事による改善効果となります。

◎データの取得が自動化され、読み合わせが不要に!!

計測機から取得したデータを正確に取得し、上位の健診システムに瞬時に反映することができる健診ステーションは、データの信頼性も高く、今までに行っていた結果数値の読み合わせ作業が不要となりました。そのため、計測機からデータを自動で取得できる検査については、連動が完成されている状況です。

多彩な機能が好評

健診ステーションは、ただデータ収集するだけではなく、健診業務において、便利な機能も兼ね備えています。例えば、条件設定機能は、肺機能の検査前に、必要となる身長体重の検査を実施していない場合は、警告アラートで知らせてくれます。

また、各検査終了後には、未受診項目を表示し、残っている検査が一目で把握可能です。

検査終了時にカードを回収する際には、未受診項目を系統的にチェックし、検査漏れを防ぐこともできます。

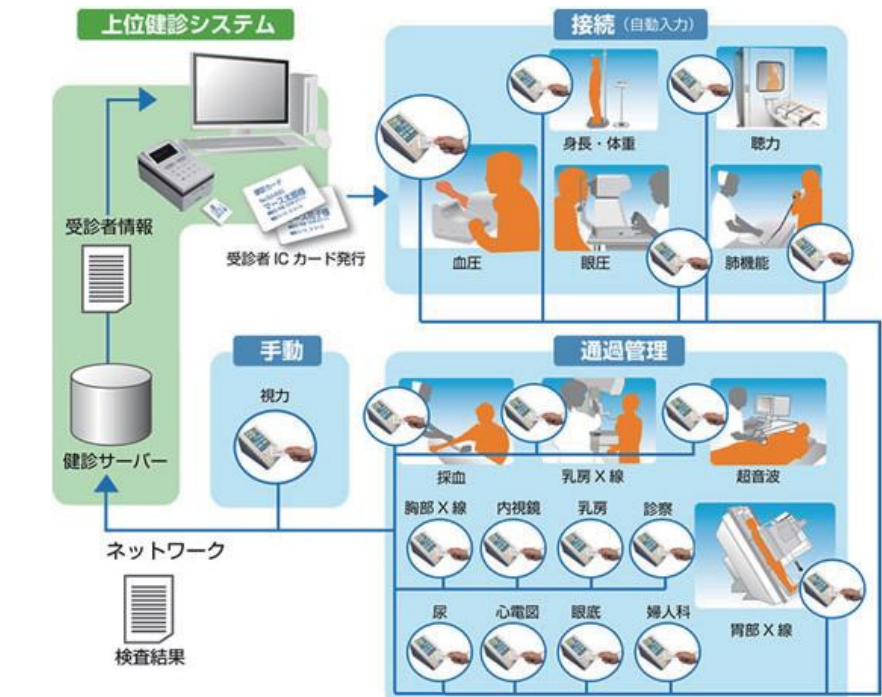
従来スタッフが行っていた様々なチェック作業をシステム化して効率化を実現しているのです。

「特に条件設定機能は、現場スタッフに好評ですよ。」(システム担当者様談)

現状は紙の受診票と IC カードを併用しているため、今後は、紙の必要性を検討していく要請があり、放射線科で従来から受診者属性情報の送信に使っている磁気カードも廃止して、健診ステーションの IC カード 1 枚で運用することも検討しているとのこと。

霞ヶ浦成人病研究事業団様は、健診ステーションを使った更なる効率化を目指し、今も走り続けていらっしゃいます。

受診課目毎にデータを収集。短時間で結果を集録することができます。このシステムの応用で生産現場でも工程管理や人員管理に大幅な改善が可能です。



手間の連続: 手書き → OCR → チェック作業 → 修正作業



健診の順番違いや
受診漏れなど
間違いをその場で警告
データ収集にかかる時間を
大幅に短縮!

次号予告

2012年5月号は・・・

『ポイントを押さえた在庫管理』

についてです。

Flags 5月号は 5月11日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは当社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2012年4月号 Vol.83 2012年4月9日発行

編集・発行 株式会社マーストケンソリューション

編集事務局: 03(5325)4322

この健診ステーションシステムをご導入いただいている健診センターは全国規模で増加中です。詳しくは当社営業担当までお気軽にお問合わせください。

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

| | | |
|--------|---------------------|---------------------|
| 本社営業部 | 東京都新宿区新宿1-8-5 | 新宿御苑室町ビル |
| | Tel: 03 (3352) 8560 | Fax: 03 (3352) 8579 |
| 名古屋営業所 | Tel: 052 (565) 9091 | Fax: 052 (565) 9094 |
| 大阪営業所 | Tel: 06 (6353) 5476 | Fax: 06 (6353) 6125 |
| 福岡営業所 | Tel: 092 (441) 3638 | Fax: 092 (441) 3639 |
| 日立営業所 | Tel: 029 (276) 9555 | Fax: 029 (276) 9556 |